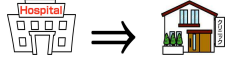


治療について（肝硬変（C型） 地域連携パス）
病院からかかりつけ医へ

平成 年 月 日



HCV による肝硬変（代償期、非代償期）が疑われ、以下のいずれかの処置をお勧めします。

- ① 肝庇護療法 ② 肝硬変の合併症の検索と対策

【① 肝庇護療法】

- * ALT（GPT）は基準範囲ですので経過観察で良いと考えます。
- * ウルソデオキシコール酸(ウルソ) または他の経口肝庇護剤
- * 強力ミノファゲン C の静注 1 回 ml 週 回
- * 鉄除去療法（瀉血と鉄制限食）
- * 抗ウイルス療法（インターフェロン療法）
をお勧めします

【② 肝硬変の合併症の検索と対策】

- * 画像検査上は、肝細胞癌の合併症は見られません。（ ）ヶ月後に血液検査と超音波検査をお勧めします。
- * 上部消化管内視鏡上では、食道静脈瘤の合併は（☐見られません ☐見られます）。
治療は（☐不要です ☐必要です）。
- * 肝性脳症を（☐認めません ☐認めます）。
治療は（☐ラクチュロース ☐分枝鎖アミノ酸製剤 ☐抗生物質）が（☐不要です ☐必要です）。
- * 肝性脳症を（☐認めません ☐認めます）。
- * 低アルブミン血症が（☐見られません ☐見られます）。
（☐分枝鎖アミノ酸製剤 ☐アルブミン）の投与が必要です。

その他連絡事項；